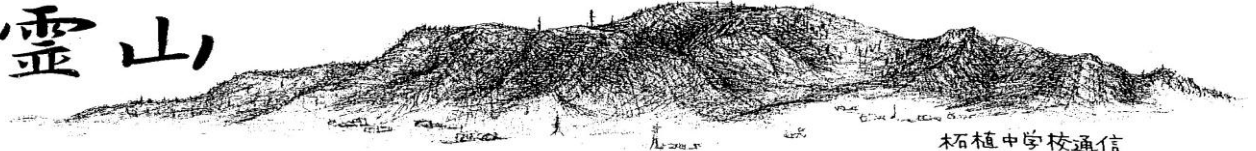


# 霊山



柘植中学校通信

2026.5.15 No.2

5月に入り、学校も学年始めの慌ただしさから、少し落ち着き、学習活動に打ち込む時期にシフトチェンジを図っています。また、4月下旬にはお忙しい中、家庭訪問や授業参観、学級別懇談会、(仮称)霊山中学校の校歌作成ワークショップ等にご参加、ご協力いただき、ありがとうございました。

現在、体育祭、修学旅行や中間テスト、伊賀市総体といった大きな行事に向けて、着実に取り組みを進めているところです。今回の「霊山」では、新学期が始まって1ヶ月の様子についてお知らせします。

## 授業参観、学級懇談会 (4/28) ~ご参加ありがとうございました~

1年生は数学、2年生は理科、わか草1年生は国語の授業参観、3年生は進路、修学旅行説明会、そして、学級別懇談会。参加いただきました保護者のみなさん、とりわけ、新旧の役員のみなさん、ありがとうございました。学校と保護者が協働して生徒の育成に携わっていきたくと考えております。

今回の「霊山」でご紹介する学校マニフェストにおいても、「進路・学力保障、なかまづくり」をベースに人権が大事にされる学校を今年度もめざしていきます。

## 交通安全教室 (4/30)

道路交通法の改正もあり、自転車の乗り方や交通ルールについての理解を深めるため、本年度も伊賀警察署交通課の方に来ていただき、全校生徒で考える機会を持ちました。安全に自転車に乗るために、「どこを通ればよいか」「どのようなことに気をつけて運転しなければいけないか」など、具体的に道路や歩道の写真、図等を使いながらわかりやすく説明していただきました。また4月より導入された青切符(反則金)のこともふれ、これから自転車に乗るにあたり、「自分にも歩行者にも安全に通行しよう」という交通安全についての意識向上につなげました。

## 校歌作成ワークショップ (5/1)

(仮称)霊山中学校の校歌の作成を中心に進めていただき、本校卒業生の北川美晃さん、山本健太さん、霊峰中学校卒業生の今野尚美さんを迎え、新しい校歌の作成に向けて、ワークショップを行いました(午前には霊峰中学校でも開催)。はじめに、北川さん、今野さん、山本さんから、プロのピアノ演奏を聴かせていただきました。その後、この地域や学校への思い、校歌作成に向けて大切にしたいことなどのお話を聞かせていただきました。途中、今の柘植中学校の校歌を卒業生とともに、かみしめながら歌いました。今回は中学生や保護者だけでなく、地域の方にも参加いただき、一緒に、校歌に込める思いや、使いたいキーワードなど、出し合いました。ここから両校で意見をもち、3名の方を中心に、校歌の作成を進めていただく予定です。



# 教育活動の充実に向けて

本年度の学校教育目標と学校マニフェストを決定しました。本年度は特に、柘植中学校としての取組は最後になります。これまで本校が大切にしてきたことを、「最後までしっかりとやり切る」ことをキーワードに取組を進めていきたいと思っています。

ねんど  
2026年度  
がっこうきょういくもくひょう  
学校教育目標

と の こ  
「だれひとり取り残さない  
進路・学力保障の創造」  
～継承・発展・創造の9年間の実現をめざして～

子どもたちが、自分のくらしを見つめ、肯定的にとらえることができ、自己実現していくために、学力を向上させ、実践行動力を養えるようエンパワメント(本来、自分自身が備えている「内なる力」「可能性」)を最大限に引き出すことが、子どもや保護者、地域、学校に関わる全ての人々の互いに持つパワーや可能性を溢れ出させることにつながると考えています。今年度も、この目標に向けて一人ひとりの子どもの状況や学年の実態にあわせ様々な教育活動を考えていきます。

保護者の皆様をはじめたくさんの方々のお知恵や力をお借りしながら、「激しい変化の中で、予測が困難とされる時代において、『自立』『共生』『創造』をキーワードに、これからの時代をたくましく生き抜いていこうとする生徒の育成」をめざしてまいりますので、どうぞお力添えをよろしくお願いいたします。

また、(仮称)霊山中学校の令和9年度の開校をめざし、各校で本年度の取組を調整したり、2校で「いがまちフオーラム」を開催したりと取組をスタートさせています。校歌作成ワークショップや閉校記念航空写真撮影など、生徒や保護者様以外にも、地域のみなさんにもご協力をいただいています。日程はまだ決まっていますが、今後通学方法について、保護者説明会等の開催も予定されています。今後もご理解ご協力よろしくお願いいたします。

「学校マニフェスト」は、学校経営方針の中の重点目標として、12項目に絞っています。これを「みちしるべ」に、本年度の教育活動を進めていきます。教育活動に対する保護者の皆様の一層のご理解とお力添えを、重ねてお願いいたします。

さらに、柘植中学校では、2010年度から「保護者ぐるみ、地域ぐるみで、柘植の子どもたちの成長を応援しよう。」との思いから、学校マニフェストだけでなく、保護者の目標として「保護者マニフェスト」を作成し取り組まれています。今年度の「学校マニフェスト」とあわせてよろしくお願いいたします。

## ～学校運営協議会委員のご紹介～

学校運営協議会委員の皆さまにコミュニティ・スクール(地域とともにある学校づくり)の運営にご参加いただき、学校運営に助言・評価をいただいています。また、2026年度は、次の皆様方に各委員をお願いし、就任いただきました。また、4月24日(金)には、第1回学校運営協議会を開催し、本年度の学校経営方針についてや統合に向けた取組等について、ご意見をいただきました。

本校教育活動の充実と、子どもたちの安全・安心のためにどうぞよろしくお願いいたします。

＜学校運営協議会委員＞

まつうら ひろまさ にしだ てつや はやし ゆうじ かわぐち もとお たかぎ やすえ きくち てるこ  
松浦 浩正さん、西田 哲也さん、林 優次さん、川口 素生さん、高木 康江さん、菊地 晃子さん

【学校教育目標】

「だれひとり取り残さない進路・学力保障の創造

～継承・発展・創造の9年間の実現をめざして～

【めざす生徒像】…「自立」「共生」「創造」をキーワードに、これからの時代を生き抜いていこうとする生徒

予測が困難とされる時代において、直面する課題に主体的に対応していく力を育むとともに、他者との関わりの中で、共に支え合って新しい社会を創造していく力を育む。

- 教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していこうとする生徒（リテラシー）
- 自分のくらしを見つめ、自分をとりまく人々の願いを受けとめ、生活を高めていこうとする生徒（エンパワメント）
- 多様なモデルとの出会いや体験活動を通して、自分の将来を思い描き、進路を選択しようとする生徒（キャリアデザイン）
- くらしの交流を通して、なかまとの絆を深めようとする生徒（なかまづくり・学級集団づくり）

【重点目標】

(1) 学力 ～ リテラシーの力 ～

- ①各授業で「ふりかえり」を意識したタイムマネジメントや、各教科における言語活動を充実させ、主体的に粘り強く学ぶ意欲・態度を育成します。
  - ア)授業がわかりやすく楽しい」とする生徒90%をめざします。
  - イ)「授業で、自分の考えを持ち、グループや全体の場面で伝え合い、考えを深める機会が多い」と感じる生徒90%をめざします。
  - ウ)「毎日の家庭学習で、目標時間を達成することができた。」子ども50%をめざします（目標時間は120分以上とする。）

(2) 人権 ～ エンパワメントの力 ～

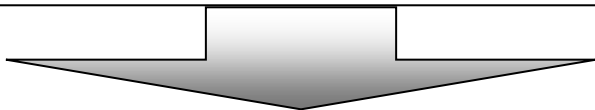
- ②生活綴り方による一枚文集の作成を通して、自分のくらしやなかまの姿に目を向ける子どもを育てます。(50号以上)
- ③人権・部落問題学習で学んだことを自分のくらしや家族、なかまとの関係や自分の将来と結びつけて考えることができる生徒90%をめざします。
- ④なかまが「くらし」や「自分のこと」を語ったことに対して、自分のことと重ねて考えることができる生徒90%をめざします。

(3) キャリア ～ キャリアデザインの力 ～

- ⑤キャリアデザインの取組と人権・部落問題学習の結合をめざします。
  - ア)キャリアデザインの小中の連続性を意識した中1での取組を充実させます。(目標値90%)
  - イ)中2の「職業体験学習」において「自分の生活課題を意識してとりくめた」と語れる生徒90%をめざします。
  - ウ)中3時に、「今の自分が目指す将来のために、この進路に決めた」とクラスで語れる生徒90%をめざします。

(4) 「なかまづくり・学級集団づくり」

- ⑥一枚文集を読み合い、くらしの交流を通して互いを知り合い、一人ひとりの居場所づくりにつとめます。
- ⑦なかまの気持ちを考え、その気持ちに自分の経験や考えを重ねて返したり、発言したりすることができたという実感を持つ生徒90%をめざします。



(5) 「人権が大事にされる学校づくり」

- ⑧「学校へ行くのが楽しい」とする生徒90%をめざします。
- ⑨柘植保・柘植小との連携を深め、「人権教育カリキュラム」の検証を通してその精度を高めます。

(6) 「働きやすい職場環境づくり」

- ⑩「協力・協働のとりくみを通して、『チーム柘植中』を意識して学校づくりに参画した」と言える教職員80%をめざします。
- ⑪「心身ともに健康で職務を遂行するため、超職務の縮減に努めた」と言える教職員80%をめざします。

子ども・保護者・地域・学校に関わるすべての人



「ト  
ひまわりが  
安心して、  
大きな木に、  
寄ってほしい」

## がっこう きょうどう とお 学校との協働を通して

かていでの きょういくほうしん なや がっこう つたえ、  
家庭での教育方針や悩みを学校にも伝え、  
たが りかいしあって 子育てを進めます。

じゅぎょうさんかんががつきゅう ちくこんだんかいなどの  
授業参観や学級・地区懇談会などの  
ぎょうじに、積極的に参加します。

がっきゅうつうしん がっこう ほうふつ とお  
学級通信や学校だよりなどの配布物を通して、  
子どもと話す機会を持ちます。

こどもの教育に関する学校からの願いについて、  
その趣旨を理解し、実現するよう努めます。

伊賀市立柘植中学校  
保護者マニフェスト

## かていせいかつ 家庭生活において

どうが サイトを みたり ゲームを  
したりする時間を 子どもと決め、  
実行できるようにします。

ちようしよく かなら 朝 食を必ずとらせて、  
げんき えがお おく だ 学校に  
元気に笑顔で送り出します。

SNS の使い方やモラルにつ  
いて、普段から子どもと話し  
あ合います。

じぶん こ 自分の子どもにも、しっ  
かりと えがお であいさつを  
します。

## ちいき かか なか 地域との関わりの中で

せいかつたいけん ふ 生活体験を増やし、  
ちいき ぶんか 地域の文化に  
親しむために、子どもとともに、  
ちいき もよお もの でんとうてき かつどう  
地域での催し物や伝統的な活動に  
積極的に参加します。

ちいき ひと 地域の人たちとのかかわりを通して見られる  
子どもたちの課題を解決していくよう努めま  
す。また、ひつよう おう がつこう つた ちくこんだん  
必要に応じて学校にも伝えたり、相談  
したりします。

子どもたちが安全に登  
げこう 下校できるよう地域ぐる  
みで取り組みます。

じんけん どうわきょういく りかい ふか がっこう  
人権・同和教育に理解を深め、学校や  
PTSA・地域が主催する講演会や  
こんだんかい せつきよくてき さんか  
懇談会に積極的に参加します。



保護者ぐるみ、地域ぐるみで、

「つげっこ」の成長を応援しましょう！

柘植中学校PTSA

2026年度